

博物館

1 基本理念

- ・市民の創造性を高めます。
- ・郷土を大切にすることを育みます。
- ・世代をつなぎます。
- ・歴史を未来に活かします。
- ・学校教育をより豊かなものにします。

2 施設の概要

- ・名称 四日市市立博物館
- ・所在地 四日市市安島一丁目3番16号
- ・設立年月日 平成5年4月1日
- ・開館年月日 平成5年11月1日
- ・丹羽文雄記念室オープン 平成18年12月9日
- ・リニューアルオープン 平成27年3月21日
- ・敷地面積 1,845.840 m²
- ・建設面積 1,590.397 m²
- ・延床面積 10,147.108 m²
- ・建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
地下2F、地上6F

・主な室名と面積

展示・教育部門		2,202.065 m ²
常設展示室	2 F	658.364 m ²
常設展示室	3 F	548.291 m ²
特別展示室	4 F	594.798 m ²
ラウンジ	4 F	93.674 m ²
図書スペース	1 F	86.350 m ²
講座室	1 F	142.218 m ²
研修・実習室	1 F	78.370 m ²
収蔵部門		1,256.230 m ²
収蔵庫①	B 2 F	243.290 m ²
収蔵庫①前室	B 2 F	38.880 m ²
収蔵庫②	B 1 F	282.170 m ²
収蔵庫③	B 1 F	384.496 m ²
収蔵庫②③前室	B 1 F	76.086 m ²
荷解室	1 F	231.308 m ²
研究部門		420.165 m ²
作業室	2 F	50.422 m ²
資料整理室	B 1 F	84.370 m ²
文献資料室	3 F	37.952 m ²
資料評価室	4 F	33.300 m ²
くん蒸室	B 1 F	43.070 m ²
スタジオ暗室	B 1 F	87.510 m ²
ビデオ編集室	B 1 F	16.882 m ²
第2会議室	4 F	37.952 m ²
第3会議室	3 F	28.707 m ²
プラネタリウム部門		1,714.282 m ²
客室（ドーム）	5 F～6 F	565.017 m ²
コズミックラウンジ	5 F	59.081 m ²
コズミックギャラリー	5 F	194.763 m ²
ブリーフィングルーム	5 F	59.326 m ²



空調機械室	5 F～6 F	836.095 m ²
管理・一般部門		4,554.366 m ²
事務室	3 F	105.059 m ²
事務室	2 F	60.464 m ²
第1会議室	2 F	37.001 m ²
ミュージアムショップ	1 F	28.723 m ²
警備室	1 F	20.812 m ²
中央監視室	B 2 F	44.064 m ²
設備機械室	B 2 F	486.190 m ²
電気室、発電機室		240.152 m ²
倉庫、展示備品室など		3,531.901 m ²

・プラネタリウム仕様

ドーム径 18.5m 傾斜型（傾斜度 20 度）

座席 144 席（遮音室 8 席）

光学式投映機 ケイロン 401

デジタル式投映システム バーチャリウム II

全天周映画 可能

3 そらんぼ四日市

博物館と併設の四日市公害と環境未来館は、「そらんぼ四日市」の総称のもと、市民に親しまれ、本市のイメージを発信する一体感のある事業展開を図っている。

常設展示は、原始・古代から近世までの各時代の特徴を象徴する建物を原寸大で再現し、時代を体感できる展示として四日市公害と環境未来館の近・現代の展示につなげ、歴史の流れを理解してこれからの四日市を考える場としている。

プラネタリウムは、従来の「地球からみた宇宙」という視点から、「宇宙からみた地球、宇宙からみた四日市」という新たな視点で、地上目線では捉えることができない地球環境について投映し、四日市公害と環境未来館と連携した環境を考える場としての特色を持ち、市内外から多くの観覧者が訪れている。

博物館・プラネタリウムと四日市公害と環境未来館は、過去から現在そして未来へという時間軸と、四日市から日本、世界・地球そして宇宙へという空間軸を自在に交差させ、立ち位置や見方、考え方を変えることで、未来のまちづくりを市民一人一人が考えることができる場となることを目指している。

4 展示等事業

(1) 常設展示

・常設展「時空街道」

四日市のあゆみのうち、原始・古代から江戸時代までを博物館で展示し、明治以降は2階の四日市公害と環境未来館で展示するため、両館の展示が一体的な時代の流れにあることを理解できるように、展示テーマを「四日市のまちの発展と人々のくらしの変化」とした。

時空街道では、各時代を特徴づける原寸大の建物を再現し、観覧者自身が時代の雰囲気や、社会の変化の流れを体感できるような構成としている。映像や照明による一日の時間や季節の移り変わりを感じられるほか、スマートフォンやタブレット端末を利用した展示解説や、解説シート、ボランティアとの対話の中から得られる説明など、資料の理解を促す方法も選べ、何度訪れても学べる工夫をおこなっている。

・丹羽文雄記念室

文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄（平成17年4月逝去）の足跡と業績を紹介している。丹羽作品の初版本や豪華本を始め、芸術家のための健康保険組合の創設、「文学者之墓」の建立など、文学者の社会的地位の向上に尽力し、日本文藝家協会理事長をながく務めた功績などを展示している。

また、二十数年にわたって丹羽が私費を投じて刊行した雑誌「文学者」の同人たちが集った丹羽邸応接間も再現している。

開館日数 285日 観覧者数 44,816人

(2) 特別展・企画展

① 「星をみつめるどうぶつたち はしもとみおの世界展」		
会 期	4月20日(土)から 6月2日(日)までの39日間	
観 覧 料	一般1,000円 高・大生800円	
観 覧 者 数	7,753人	
関 連 行 事	4月20日(土)	ギャラリートーク はしもとみお(彫刻家)
	5月19日(日)	ワークショップ「木彫りブローチをつくろう」はしもとみお(彫刻家)

② 「ウィリアム・モリス 英国の風景とともにめぐるデザインの軌跡」	
会 期	9月14日(土)から10月27日(日)までの38日間
観 覧 料	一般1,000円 高・大生800円

入館者数	2,928人	
関 連 行 事	10月3日(木)	ベビーカーDAY
	10月5日(土)	ギャラリートーク 織作峰子(写真家・大阪芸術大学教授)

③ 「四日市港開港120周年記念企画展 みなとの歩み～市庭浦から港へ～」		
会 期	11月9日(土)から 12月15日(日)までの39日間	
観 覧 料	一般400円 高・大生300円	
観 覧 者 数	781人	
関 連 行 事	11月17日(日) 11月30日(土) 12月15日(日)	ギャラリートーク 田中伸一(当館学芸員)、森拓也(当館職員)
	12月3日(火) ～15日(日)、21日(土)、22日(日)、24日(火)	インスタグラムフォトコンテスト(四日市港管理組合主催)入選作品展示

④ 「昭和のくらし 昭和の面影 ～サカツ・コレクション 珠玉のポスターとともに～」		
会 期	令和2年1月2日(木)から 3月1日(日)までの52日間	
観 覧 料	一般400円 高・大生300円	
観 覧 者 数	5,557人	
関 連 行 事	1月4・11・18・25日(各土曜日)	「なつかしのメンコ大会」
	1月12日・2月2・16日(各日曜日)	「昭和を語ろう」 近藤賢次(当館ボランティア)、廣瀬毅(当館副館長・学芸員)、倉田文美(当館職員)、森拓也(当館職員)
	2月23日(日)	「昭和の青春SPレコード鑑賞」森拓也(当館職員)

⑤ 共催展「第61回北勢地区高等学校美術展」	
会期	令和2年3月10日(火)から3月15日(日)までの6日間 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止による県立高等学校臨時休校のため中止
観覧料	無料
観覧者数	
関連行事	3月14日(土)特別企画「講演とワークショップ」深堀隆介(美術作家) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止による県立高等学校臨時休校のため中止

(3) 学習支援展示・特別陳列

学習支援展示 観覧者数 19,740人 (31年度分のみ)

名称	会期	場所
①大昔の四日市 弥生時代と古墳時代	3月16日(土) ～5月6日 (月・休)	白里亭、 3Fロビー
②四日市空襲と 戦時下の暮らし	6月11日(火) ～9月1日 (日)	白里亭、 3Fロビー、 2F常設展一部
③大昔の四日市 弥生時代と古墳時代	令和2年 3月17日(土) ～5月6日 (水・休) ※4月15日(水) から5月6日 (水・休)まで 臨時休館	白里亭、 3Fロビー

特別陳列 観覧者数 21,799人

名称	会期	場所
①館蔵品展Ⅰ 新収蔵品展	5月18日(土) ～6月2日(日)	白里亭
②館蔵品展Ⅱ 伊勢湾台風	9月14日(土) ～10月20日(日)	白里亭
③館蔵品展Ⅲ 三重の里山の山菜	10月26日(土) ～12月1日(日)	白里亭
④館蔵品展Ⅳ お正月～子年～	12月7日(土)～ 令和2年1月26日(日)	白里亭
⑤館蔵品展Ⅴ ひな飾り	2月1日(土) ～3月1日(日)	白里亭

5 教育普及事業

(1) 子ども博物館教室

①ワークショップ(全6回)

参加者数 205人 [場所: 講座室ほか]

5月26日(日)	まが玉をつくろう	千田佑香 (当館学芸員) 倉田文美 (当館職員) 勝間久美子 (当館職員)
7月7日(日)	七夕かざり	
7月14日(日)	飛び出すカード	
12月8日(日)	紙版画で年賀状	
令和2年 1月19日(日)	むかしの道具を使っ てみよう	
2月23日 (日・祝)	ひな祭り	

②ジュニア学芸員養成講座(全4回)

参加者数 55人 [場所: 講座室ほか]

5月12日(日)	学芸員入門	田中伸一 (当館学芸員) 倉田文美 (当館職員)
6月16日(日)	四日市空襲を語り継ご う	
7月28日(日)	バックヤード体験	
8月18日(日)	美術品に触れよう	

③親と子のプチわーくしょっぷ(全6回)

参加者数 96人 [場所: 講座室]

4月28日(日)	かみコップでどうぶつ えん	千田佑香 (当館学芸員) 倉田文美 (当館職員)
6月2日(日)	「さくら」でつくろう	
8月25日(日)	「どんぐり」でつくろ う	
11月24日(日)	「まつぼっくり」でつ くろう	
12月1日(日)	はじめての「ねんがじ ょう」	
令和2年2月 11日(火・祝)	むかしのあそび	

(2) 一般向け講座

①時空街道ツアー(全8回)

参加者数 50人 [場所: 時空街道]

4月14日(日)	体感型常設展を、 人々の暮らしの変 化という視点で読 み解く、ボランテ ィアや職員による 約1時間のガイド ツアー	博物館 ボランティア 倉田文美 (当館職員)
5月4日(土・祝)		
7月14日(日)		
8月4日(日)		
10月14日 (月・祝)		
11月4日(月・休)		
11月24日(日)		
令和2年2月24日 (月・休)		

②ミュージアムセミナー

「絵画史を彩る作家と名品」(全4回)

聴講者数73人 [場所: 講座室]

7月27日(土)	世界で一番有名な日本人!? 葛飾北斎	神谷浩(国際浮世絵学会常任理事)
8月24日(土)	日本画誕生～日本絵画の流れの中で～	吉田俊英(当館館長)
10月19日(土)	富岡鉄斎とその時代	木本文平(碧南市藤井達吉現代美術館館長)
11月9日(土)	黒田清輝 明治人の使命としたこと	山田諭(京都市美術館学芸課長)

③館長講座「日本美術の新しい見方」(全12回)

参加者数408人 [場所: 講座室]

4月13日(土)	「日本のリアリズム」って何?	吉田俊英(当館館長)
5月11日(土)	日本美術とアニミズム	
6月15日(土)	比較は美術を楽しくする	
7月13日(土)	「型(かた)」と「形(かたち)」の美術史	
8月10日(土)	日本文化における「真・行・草」	
9月21日(土)	日本文化の「東西南北」	
10月12日(土)	「風景画」の流れ ※暴風警報発令による休館のため中止	
11月23日(土・祝)	「美人画」の流れ	
12月14日(土)	「花鳥画」の流れ	
令和2年1月11日(土)	「色」いろいろ	
2月8日(土)	日本絵画の戯画性	
3月28日(土)	世間はアートで満ちている ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

④大人の社会科(全4回)

参加者数17人 [場所: 講座室ほか]

4月27日(土)	バックヤードツアー	田中伸一
----------	-----------	------

5月18日(土)	風呂敷	(当館学芸員) 千田佑香
9月28日(土)	学芸員体験 資料の調査方法	(当館学芸員) 倉田文美
令和2年2月29日(土)	史料講読会 教科書の掲載史料	(当館職員)

⑤「丹羽文雄記念室」行事(全2回)

参加者数36人 [場所: 講座室]

4月20日(土)	作品朗読会「古里の寺」	田中伸一(当館学芸員)
11月16日(土)	原作映画上映会「人間模様」	

⑥いちにの散策よっかいち(全2回)

参加者数10人 [場所: 現地]

6月1日(土)	杖衝坂とその周辺	田中伸一(当館学芸員)
10月26日(土)	智積養水とその周辺	

⑦大人の学びなお史(全6回)

参加者数128人 [場所: 講座室]

6月23日(日)	学びなお史への招待～今昔教科書比べ～	田中伸一、(当館学芸員)
9月1日(日)	古代の民衆仏教	
10月6日(日)	古代国家の政治思想～律令・仏教・漢文学～	
11月10日(日)	古代の土地制度～公地公民から荘園公領制～	
令和2年1月26日(日)	地藏信仰と流行神	千田佑香(当館学芸員)
3月22日(日)	生き物の名前今昔 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	森拓也(当館職員)

⑧読み解き江戸ぐらし

参加者数109人 [場所: 講座室]

令和2年1月5日(日)	「時」を読み解く	廣瀬毅(当館副館長・学芸員)
2月9日(日)	「言葉」を読み解く	
3月1日(日)	「娯楽」を読み解く ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

⑨出前講座

(市内各所)

演題	回数	参加者数	講師
東海道と四日市宿	3	97	廣瀬毅 (当館副館長・学芸員)
伊勢参宮と四日市	1	20	
映像で振り返る昭和の四日市	2	77	
なつかしい四日市の鉄道	1	21	
地獄と極楽の話	8	218	田中伸一 (当館学芸員)
面白い萬古焼の見方	1	22	
心を包む風呂敷	3	35	倉田文美 (当館職員)
日本文化における「真・行・草」	1	48	吉田俊英 (当館館長)
その他	7	422	廣瀬毅 (当館副館長・学芸員)、 田中伸一 (当館学芸員)、 倉田文美 (当館職員)
合計	27	960	

⑩実習・研修の受入

博物館実習

8月20日(火)～8月30日(金)の内、土、日、休館日、を除いた8日間
9大学11人

学校教員研修

月	内容	人数	担当
7月・8月	社会体験研修	8人	倉田文美 (当館職員)
7月	体験的博物館講座	7人	
	計9日	15人	

中学生の職業体験

月	校数	人数	担当
5月	1校	2人	倉田文美 (当館職員) 企画普及係、 天文係、 管理係職員
6月	4校	8人	
9月	4校	8人	
10月	1校	2人	
11月	2校	3人	
12月	1校	2人	
延38日	13校	25人	

⑪博物館ボランティア養成研修

9月28日(土)、10月26日(土)、11月2日(土)、11月30日(土)、12月7日(土)、令和2年1月20日(月)、2月3日(月)、2月17日(月) 全8回 参加 7人
--

⑫丹羽文雄記念室語り部養成研修

10月22日(火・祝)、11月1日(金)、11月16日(土)、12月21日(土)、令和2年1月25日(土)、2月22日(土)、3月22日(土) 全7回 参加 5人

(3) ボランティアとの協働

博物館ボランティア

登録者数 46人 (うち31年度登録者7人)
延べ活動者数 1,138人
丹羽文雄記念室語り部
登録者数 11人 (内新規5人)
延べ活動者数 56人

古文書ボランティア

登録者数 9人 延べ活動者数 104人

6 資料収集保存事業

(単位：件) (令和2年3月末現在)

1	区 分	実物・標本	模 型	複 写
人 文 学 資 料	(1)考古	1,429		25
	(2)美術工芸	3,354		30
	(3)民俗	5,440		18
	(4)歴史	12,384		62
	(5)文学	4,917		8
	計	27,524		143
2	区 分	実物・標本	模 型	複 写
自 然 科 学 資 料	(1)動物資料	0		0
	(2)植物資料	3,273		0
	(3)地学資料	130		2
	(4)理工学資料	0		0
	(5)天文資料	7		0
	(6)その他の資料	0		0
	計	3,410		2

7 プラネタリウム投映事業

季節ごとに3種類(一般番組、ファミリー番組、星空番組)の番組を投映した。特に、一般番組(夏・春)は、四日市オリジナルの番組として、制作した。星空番組は、季節の星空や天文現象にあわせて、45分間のフルライブで解説した。また、期間限定で未就学児の家族を対象とした幼児番組「はじめてのプラネタリウム」や、夏の企画展「地球の彩りを宇宙から」に合わせた企画展オリジナル番組「地球が心配～宇宙から地球をヘルスチェック～」、毎週土曜日に「夜間特別番組」の投映を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月10日からプラネタリウムの投映および5階コミックギャラリーの観覧を休止した。

(1) 季節番組

<春番組>

①一般番組「星の旅 -世界編-」 ②ファミリー番組「ぼのぼの 宇宙から来たともだち」 ③星空番組「12の星ものがたり・春 ～あなたの誕生日の星空は?～」	
放映期間	3月16日(土)～ 6月2日(日)
観覧者数	①2,325人(3,058人) ②2,348人(3,195人) ③852人(1,203人) ※()内は前年度分を含む

<夏番組>

① 一般番組「アポロ月面着陸50周年 <small>げっせかい</small> 月世界へ ～FROM THE EARTH TO THE MOON～」 ②ファミリー番組「プラネタリウム ちびまる子ちゃん それでも地球はまわっている」 ③星空番組「12の星ものがたり・夏 ～あなたの誕生日の星空は?～」	
放映期間	6月11日(火)～ 9月1日(日)
観覧者数	①5,605人 ②8,199人 ③3,939人

<秋番組>

①一般番組「アースシンフォニー 光と水が奏でる空の物語」 ②ファミリー番組「ムーミン谷のオーロラ」 ③星空番組「12の星ものがたり・秋 ～あなたの誕生日の星空は?～」	
放映期間	9月10日(火)～ 12月15日(日)
観覧者数	①2,618人 ②4,250人 ③1,467人

<冬番組>

①一般番組「コズミックフロント ～宇宙エレベーターの旅～」 ②ファミリー番組「プラネタリウム はなかっぱ 花さけ!パッカ～ん 宇宙旅行」 ③星空番組「12の星ものがたり・冬 ～あなたの誕生日の星空は?～」	
放映期間	12月21日(土)～ 令和2年3月1日(日)
観覧者数	①1,638人 ②3,137人 ③920人

<春番組>

①一般番組「HAYABUSA2 -REBORN-」 ②ファミリー番組「かいけつゾロリ ～ZZ(ダブルゼット)のひみつ～」 ③星空番組「12の星ものがたり・春 ～あなたの誕生日の星空は?～」	
放映期間	令和2年3月10日(火)～ 6月7日(日) ③は3月31日まで
観覧者数	①0人 ②0人 ③0人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月10日から5月31日まで観覧休止。 なお、観覧者数は、3月31日までの合計

※全ての季節番組に各1回字幕付き放映を実施

(2) 特別番組

①夜間特別番組(毎週土曜日 18:30～19:15)

「南極ヒーリング この地球(ほし)の果てで」	3月16日(土)～6月1日(土) 観覧者数 195人(247人) ※()内は前年度分を含む
「銀河鉄道の夜」	6月15日(土)～8月31日(土) 観覧者数 791人
「銀河鉄道の夜」	9月21日(土)～ 12月14日(土) 観覧者数 659人
「花鳥風月 星ごよみ」	12月21日(土)～ 令和2年2月29日(土) 観覧者数 190人
「花鳥風月 星ごよみ」	令和2年3月14日(土) ～6月6日(土) 観覧者数 0人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月10日から5月31日まで観覧休止。なお、観覧者数は、3月31日までの合計

※全ての夜間特別番組に各1回字幕付き放映を実施

② 幼児番組

はじめてのプラネタリウム 「しまじろうと おつきさまのひみつ」	4月12日(金)・19日(金)・ 26日(金)・ 27日(土)～5月6日(月・休) 10:15～11:00
	観覧者数 1,588 人

③四日市公害と環境未来館企画展オリジナル番組

地球が心配 ～宇宙から地球を ヘルスチェック～	7月20日(土)～9月1日(日) 10:15～10:30、 10:45～11:00
	観覧者数 778人

(3) 学習投映 (団体利用投映)

- ・ 保育園、幼稚園、認定こども園、小・中学校、高校等の団体対象 (事前申込みが必要)
- ・ 季節の星座を中心に、年齢・学年に応じた、生解説による体験型の学習用プラネタリウム
- ・ 四日市公害と環境未来館と連携して、小学校 5 年生を対象に環境学習プログラムを投映

天体学習プログラム	148 回	9,921 人
環境学習プログラム	31 回	2,086 人
合計	179 回	12,007 人

<季節番組・学習投映の投映時刻>

令和 2 年 3 月 1 日(日)まで

平日	学習 9:50	学習 10:50	学習 13:15	一般 14:30	星空 15:45	
土日祝 学校長期 休暇期間	一般 10:15	ファミリー 11:30	ファミリー 13:15	一般 14:30	星空 15:45	土曜 夜間 18:30

※投映は約 45 分間

令和 2 年 3 月 10 日(火)から

平日	学習 9:50	学習 10:50	学習 13:15	一般 14:20	星空 15:35	
土日祝 学校長期 休暇期間	一般 10:05	ファミリー 11:20	ファミリー 13:05	一般 14:20	星空 15:35	土曜 夜間 18:20

※学習投映は約 45 分間、その他は入場も含めて約 55 分間

(4) プラネタリウムイベント

①宇宙塾

「人工衛星から見た 地球の姿 ～「しきさい」の 観測結果から～」	8月17日(土) 18:30～20:00
	空野正明 (JAXA 第一宇宙技術部衛星

	システム開発統括付)
	観覧者数 81 人
「誰でも宇宙へ行ける? ～宇宙エレベーターの 実現に向けて～」	令和 2 年 2 月 8 日(土) 18:30～20:00
	青木義男 (日本大学理工学部次長・教授) 協力:津工業高等学校 観覧者数 84 人
「宇宙大航海時代へ ～漆黒の大宇宙 への冒険～」	令和 2 年 3 月 21 日(土) 18:30～20:00
	國中均 (JAXA 宇宙科学研究所長)
	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止

※全ての回で字幕、手話を付けて実施

②特別企画

プラネタリウムコンサート 「名月とマリンバの夕べ」	9月14日(土) 18:30～20:00
	ヴァンルージュ 観覧者数 133人
プラネタリウム CD コンサート 「昭和の宇宙まんが 音楽特集」	令和2年2月1日(土) 18:30～19:30
	観覧者数 57 人
プラネタリウムコンサート 「姫神 HIMEKAMI」	令和2年2月22日(土) 18:30～20:00
	観覧者数 137 人

(5) その他投映

①研修・視察等に関する投映 2回 81人 (2団体)

②ふるさと納税者向け投映 0回 0人

(6) その他視察 1回 3人 (1団体)

※観覧者数としてカウントしない。

8 天文教育普及事業

移動天文車「きらら号」を使った観望会やコズミックスクールでの科学工作、四日市こども科学セミナーなど各種の事業を実施し、幅広く天文の普及に努めた。

(1) 移動天文車「きらら号」事業

大型天体望遠鏡を載せた移動天文車「きらら号」による星空観望会を天文ボランティアの方々と協働で実施した。

① 派遣事業

要請により市内各地へ出動し、観望会を行った。

「きらら号」稼働状況（派遣事業のみ）	
稼働予定回数 21回 （実施：13回、中止時の天文教室：5回、天候不良のため中止：3回）	参加者数 1,771人 （中止時の天文教室参加者数 264人） ボランティア数 延べ46人

安全な方法で太陽を観察しよう	3月28日(土) 10:30～12:00	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
----------------	-------------------------	-----------------------

② 主催事業

「きらら号」稼働状況（主催事業のみ）	
稼働予定回数 15回 （実施：7回、天候不良のため中止：7回、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止：1回）	参加者数 756人 ボランティア数 延べ45人

(2) 公開観望会（移動天文車「きらら号」出動なし）

ペルセウス座流星群と夏の星空観望会	8月12日(月・休) 19:00～21:00 場所：伊坂ダム	93人
土星と「銀河鉄道の夜」の星を見よう	10月26日(土) 17:00～18:30 場所：当館屋上	67人
全2回 参加者数合計		160人

<主催観望会>

会場：市民公園（博物館前）

春の大曲線をさがそう	4月27日(土) 19:30～21:00	52人
春の大曲線をさがそう	5月25日(土) 19:30～21:00	116人
木星を見よう	6月22日(土) 19:30～21:00	天候不良の為中止
木星と土星を見よう ※コルキットの使い方講習	7月27日(土) 19:30～21:00	天候不良の為中止
織姫星と彦星を見よう（旧暦の七夕）	8月7日(水) 19:30～21:00	141人
月と木星、土星を見よう	8月10日(土) 19:00～20:30	202人
木星と土星を見よう	8月24日(土) 19:00～20:30	天候不良の為中止
中秋の名月を見よう	9月13日(金) 19:30～21:00	95人
木星と土星を見よう	9月28日(土) 18:30～20:30	天候不良の為中止
栗名月と土星を見よう	10月11日(金) 19:00～20:30	天候不良の為中止
土星を見よう	11月23日(土・祝) 17:00～18:30	132人
部分日食を見よう	12月26日(木) 14:30～16:30	天候不良の為中止
金星とすばるを見よう（きらら号トラブルで出動せず）	令和2年 1月25日(土) 18:00～19:30	18人
金星と冬の大三角をさがそう	2月22日(土) 18:30～20:00	天候不良の為中止

(3) コズミックスクール

①ぬりえであそぼう!	4月27日(土)～5月6日(月・休) 11:00～12:30	
②天体望遠鏡を作って宇宙を観察しよう!	7月21日(日) 10:00～12:30	
③立体月齢早見盤を作ろう	7月28日(日) 15:00～17:00	
④夕日はどうして赤いの?～光のスペクトルを調べよう!～	8月18日(土) 15:30～18:00	
全12回 参加者数合計		596人

(4) 楠歴史民俗資料館「夜間特別開館」での工作

風船ヘリコプターを作ろう	5月25日(土) 14:30～16:00 参加者数 23人
--------------	----------------------------------

(5) 夏季教職員研修講座（天文教育研修）

「太陽系の惑星ってどんな星？」 (小・中学校教員対象)	7月29日(月)10:00～12:30 政田 洋平 (愛知教育大学 講師)
	参加者数 83人

(6) 学校連携

学習参加券	7月20日(土)～ 9月1日(日)	実施校数 15校 利用枚数 3,612枚
-------	----------------------	-------------------------

(7) 四日市子ども科学セミナー

JAXA コズミックカレンダー in 四日市 「かさ袋ロケットを作って飛ばそう」	8月4日(日) 10:00～12:00(小学1～3年) 13:30～15:30(小学4～6年) 伊藤信成(三重大学 教授)
	参加者数合計 97人

(8) ガリレオ教室 (天文ボランティアとの協働)

4月14日(日)	惑星のひみつ
5月12日(日)	はやぶさ2のミッション
7月14日(日)	木星のひみつ
8月12日(日)	流星のひみつ
10月13日(日)	月のひみつ
11月10日(日)	太陽のひみつ
12月8日(日)	日食のひみつ
令和2年1月12日(日)	今年の星たち
令和2年2月9日(日)	宇宙エレベーター
1日2回 全18回実施 参加者数合計 282人	

(9) 天文ボランティア支援事業

天文ボランティアが主体的に実施する事業を支援する。

- ①天文ボランティア学習会 (全12回実施)
- ②天文ボランティア主催観望会 (全7回実施)
- ③天文ボランティア工房 (全10回実施 参加者242人)

9 開館時間等

開館時間 午前9時30分から午後5時まで
(ただし展覧会への入場は午後4時30分まで)

※毎週土曜日は夜間特別開館として1階・5階のみ、
午後7時30分まで開館。

休館日 月曜日(休日の場合は翌平日)及び年末年始
(12/25~1/1)ただし、8月13日は開館

整備休館 6月 3日(月)~10日(月)

9月 2日(月)~9日(月)

12月16日(月)~20日(金)

令和2年3月 2日(月)~9日(月)

観覧料金

令和元年9月30日(月)まで

区分	博物館特別展示	プラネタリウム	プラネタリウム特別番組
一般	その都度定める額	540円	その都度定める額
高・大生		380円	
小・中生		210円	

令和元年10月1日(火)から

区分	博物館特別展示	プラネタリウム	プラネタリウム特別番組
一般	その都度定める額	550円	その都度定める額
高・大生		390円	
小・中生	無料	210円	

※有料20名以上の団体は2割引

※博物館常設展示は無料

施設利用

令和元年9月30日(月)まで

	9時30分~12時	13~17時	9時30分~17時
特別展示室 595㎡	—	—	32,400円
講座室 142㎡	8,640円	12,960円	21,600円

令和元年10月1日(火)から

	9時30分~12時	13~17時	9時30分~17時
特別展示室 595㎡	—	—	33,000円
講座室 142㎡	8,800円	13,200円	22,000円

10 月別観覧者数

※7月20日(土)～9月1日(日)の期間は、四日市公害と環境未来館主催の特別展「地球の彩を宇宙から」開催のため、博物館の「特別・企画展」の観覧者数には含めていません。

月	常設展		特別・企画展		プラネタリウム			月 計
4月	26日	3,001	10日	1,588	26日	103回	3,090	7,679
5月	27日	4,365	27日	5,008	27日	110回	4,843	14,216
6月	20日	3,868	2日	1,157	20日	54回	4,426	9,451
7月	26日	3,925	0日	0	26日	129回	6,134	10,059
8月	27日	7,230	0日	0	27日	167回	12,601	19,831
9月	19日	4,109	14日	946	19日	83回	4,723	9,778
10月	26日	4,686	24日	1,982	26日	112回	4,353	11,021
11月	26日	4,199	19日	338	26日	115回	3,785	8,322
12月	16日	2,044	13日	443	16日	66回	2,372	4,859
31年1月	26日	3,259	26日	2,829	26日	105回	3,838	9,926
2月	25日	3,460	25日	2,636	25日	106回	3,804	9,900
3月	20日	670	1日	92	1日	5回	110	872
合計	285日	44,816	161日	17,019	266日	1,196回	54,079	115,914

[参考]

過去3年間の観覧者数

年度	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		合計人数
30	287日	50,689人	153日	13,027人	287日	63,389人	127,105人
29	292日	50,595人	169日	13,735人	293日	60,068人	124,398人
28	288日	56,454人	144日	18,800人	288日	63,310人	138,564人